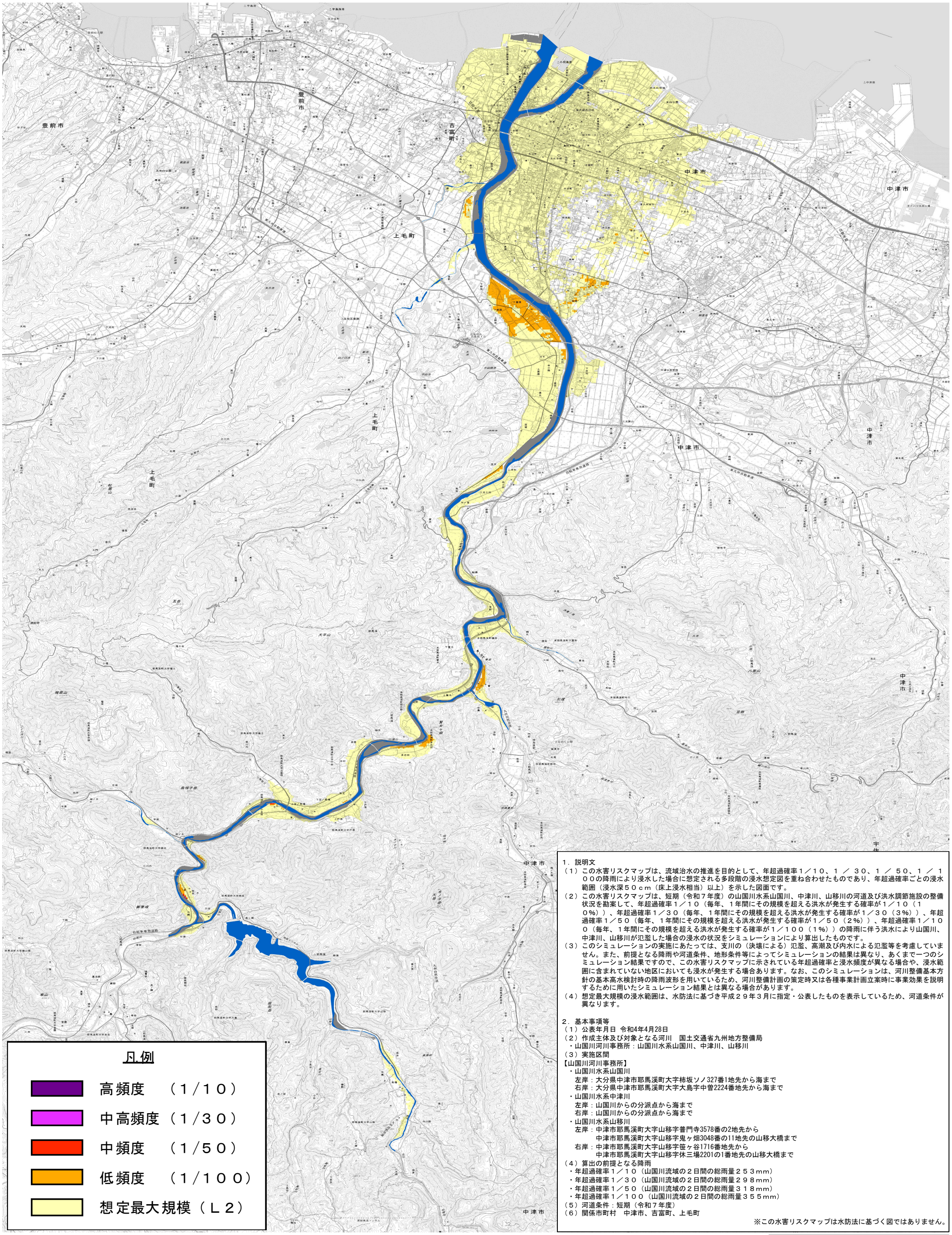
山国川水系　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【短期河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



1．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０、１／３０、１／５０、１／１００の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深５０ｃｍ（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、短期（令和７年度）の山国川水系山国川、中津川、山移川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０%））、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%））の降雨に伴う洪水により山国川、中津川、山移川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２９年３月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

（１）公表年月日 令和4年4月28日

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省九州地方整備局
・山国川河川事務所：山国川水系山国川、中津川、山移川

（３）実施区間

【山国川河川事務所】
・山国川水系山国川
左岸：大分県中津市耶馬溪町大字柿坂ソノ327番1地先から海まで
右岸：大分県中津市耶馬溪町大字大島字中曽2224番地先から海まで
・山国川水系中津川
左岸：山国川からの分派点から海まで
右岸：山国川からの分派点から海まで
・山国川水系山移川
左岸：中津市耶馬溪町大字山移字普門寺3578番の2地先から
中津市耶馬溪町大字山移字鬼ヶ畑3048番の11地先の山移大橋まで
右岸：中津市耶馬溪町大字山移字笹ヶ谷1716番地先から
中津市耶馬溪町大字山移字休三場2201の1番地先の山移大橋まで

（４）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／１０（山国川流域の２日間の総雨量２５３mm）
・年超過確率１／３０（山国川流域の２日間の総雨量２９８mm）
・年超過確率１／５０（山国川流域の２日間の総雨量３１８mm）
・年超過確率１／１００（山国川流域の２日間の総雨量３５５mm）

（５）河道条件：短期（令和７年度）

（６）関係市町村　中津市、吉富町、上毛町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 4」